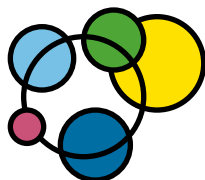


そわにえ  
**Soigner**  
第34号



「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2018年1月20日発行

発行／一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17  
公益社団法人 東京都看護協会会館 地下1階  
TEL:03-5206-3680 / FAX:03-5206-3681  
tokyohoukanst@gmail.com  
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX /	日本看護科学学会報告 … ③
ぼん・くらーじゅ …… ①	ステーション紹介 …… ④
災害対策委員会開催 防災訓練 …… ②	わかりやすい経営学 …… ⑥
キャリアラダー研修報告 …… ②	癒しの動物たち …… ⑦
訪問看護サミット2017 …… ③	編集後記他 …… ⑧



迎賓館 赤坂離宮

当協会は平成5年に東京訪問看護ステーション連絡会として発足し、平成17年に東京訪問看護ステーション協議会となり、平成29年8月1日、法人格を取得し「一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会」として新たな第一歩を踏み出しました。

今年度4月の総会で法人化の話があり、あまりのスピードでの法人格取得に驚かれた方もいらっしゃると思います。早期に法人格を取得できたのも「社会が訪問看護師に対する期待」の大きさと、看護協会・医師会をはじめ役員・会員の皆様の多大なるご協力とご厚情のおかげと深謝しております。

今、訪問看護界は大きな追い風の時期となっています。そこには、訪問看護制度の確立や旧協議会運営にご尽力くださった諸先輩方が、これまで訪問看護界のために並々ならぬ力を注いでくださったことで、訪問看護制度を安定化し訪問看護師の地位を高め、社会的信頼を得るようになった歴史があることを忘れてはなりません。

訪問看護の「知」を共に創りあげ、  
未来へ紡ごう！

一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会  
会長 椎名 美恵子



訪問看護師は、日々利用者宅や地域住民に対して斬新なアイデアを提案・実行し、利用者や地域住民の「今」だけでなく「これから」を見越した看護をおこなえる素晴らしい方々です。その発想力・創造力・行動力と、社会変動を見据えた視点を持つ研究や教育にかかわる方々と共に訪問看護の「知」を未来へ紡ぎ発信していきましょう。

**Bon Courage**  
ぼん・くらーじゅ

今後も、諸先輩方が築き上げてこられた訪問看護界への信頼を損ねることのないよう、そして訪問看護師が誇りと喜びをもって働けることができるよう、今まで以上に現場ニーズに沿った様々な研修やイベントをおこなってまいります。当協会へのご要望等は、各ブロック会や事務局へお気軽にお聞かせ戴ければ幸いです。

皆様のご理解とご協力を頂きながら、当協会も皆様方と共に創りあげ、発展していく所存です。引き続き変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 災害対策委員会開催 防災訓練

平成29年10月14日(土)、雨の降るなか防災訓練が開催され、災害対策委員、ブロック支援員25名参加いたしました。

今年度は「災害発生後早期に地域のステーションが再開できる」をメインテーマに、地域支援方法や他地域からの支援ができることを目的として訓練が行われました。

防災訓練の状況設定は、平成29年10月11日18:05 東京湾北部地震発生、東京の山の手に位置する文京区で崩落・木造住宅全半壊・火災の被害。文京区のけせら訪問看護ステーションが被災し、利用者の安否も不明。被災発生2日目に駆け付けた訪問看護師が、けせら訪問看護ステーションの指示で利用者安否確認に訪問する、という具体的な設定で実際訓練をいたしました。実際に土地勘がなく、利用者を知らない看護師が訪問することで支援してもらおうステーション、支援する訪問看護師とともに課題が見えてきました。各ステーションの準備として、フローチャートを誰が訪問しても、医療器具だけでなくライフライン等の確認もできるようにブラッシュアップしていく必要性などが検討課題になりました。

今後災害対策委員会では、防災訓練を通して抽出された課題をもとに、地域ネットワーク作りを盛り込んだマニュアル作成につなげていく予定です。

色々な地域で活動している訪問看護ステーションが「繋がる・続ける地域ネットワーク災害マニュアル」で、どんなときにも助け合える支援ができると安心です。

(うさぎ訪問看護ステーション 鈴木)



災害委員  
出発前に撮った集合写真です。実際に被災で訪問するという想定で衣装もそれなりの格好をしています。



グループワーク  
安否確認で色々見えてきた課題をまとめています。

## キャリアラダー研修報告

平成29年10月7日(土) 東京都訪問看護ステーション協会になってから初めての研修「バランスの良い訪問看護師を育てるために～訪問看護キャリアラダーを使ってみよう～」に参加しました。研修内容は以下の通りです

1. 講義
  - ・キャリアラダーの目的
  - ・キャリアラダーの構成
  - ・使用方法
2. 演習
  - ・行動目標のチェックをしてみよう
3. 意見交換

キャリアラダーの目的については、横浜市立大学の柏木聖代先生からご講義いただきました。そもそもキャリアラダーとは何か、クリニカルラダーとの違いとは、なぜキャリアラダーにしたのかなどについての講義がありました。キャリアラダーの構成については、セコム医療システム株式会社訪問看護ステーション看護部の佐藤十美先生に、訪問看護に関わる社会的背景の現状から、キャリアラダーの開発を行うことになった経緯や、このラダーの5つの構成についての解説及び使用方法についての説明がありました。

講義の中でどちらの先生も、オリジナルのキャリアラダーの発達段階を作り出すために非常に苦労したという点が共通して印象に残りました。訪問看護の社会的背景や現在行われている訪問看護研修の分類調査なども行い、その上で、訪問看護に必要とされる要素全てを洗い出す作業に、長い時間と労力を費やしたと熱く語っていただきました。

演習では実際にラダーを使って自己評価を行った後で、グループワークを行い、最後の意見交換では、参加者の方々から積極的に意見や感想、質問などがありました。その中のごく一部を紹介しますと・・・発達段階のカテゴリーが「初心者」と「新人」または「独り立ち」と「一人前」のように区別されたところが良い(表現がしっくりくる)という感想や、各発達段階の項目の中で使われている「～を知っている」「～を理解できる」の評価基準についての質問、また、職人気質の強い訪問看護師が多い中での教育の難しさや、多岐にわたり、有意義な意見交換が行われました。

今回の研修に参加して、この訪問看護キャリアラダーは開発プロジェクトチームの皆さんのこだわりや熱意が随所に詰まったラダーなのだということが伝わってきました。ただのチェックリストで終わらせるのではなく、チェックした後に見えてくる事業所の強みや弱みを抽出して、研修や勉強会などの企画につなげていくことや、面談を行いスタッフと管理者双方の間に評価のズレを無くしておくことの重要性についてなど、学びの多い研修になりました。プロジェクトチームの皆さんありがとうございました。また、このようなラダー研修が開催されることを願っています。

今回の研修に参加して、この訪問看護キャリアラダーは開発プロジェクトチームの皆さんのこだわりや熱意が随所に詰まったラダーなのだということが伝わってきました。ただのチェックリストで終わらせるのではなく、チェックした後に見えてくる事業所の強みや弱みを抽出して、研修や勉強会などの企画につなげていくことや、面談を行いスタッフと管理者双方の間に評価のズレを無くしておくことの重要性についてなど、学びの多い研修になりました。プロジェクトチームの皆さんありがとうございました。また、このようなラダー研修が開催されることを願っています。

(東大和訪問看護ステーション武蔵村山サテライト 龍原)

**東京都訪問看護ステーション協会 キャリアラダー研修**

**管理職、指導者向け基礎編**

**「バランスの良い訪問看護師を育てるために」**  
**～訪問看護キャリアラダーを使ってみよう～**

東京都訪問看護ステーション協会は、平成27年から高い訪問看護実践を評価し、訪問看護実践の自己啓発を促す訪問看護実践に取組むよう支援するためのツールとして「訪問看護キャリアラダー」の開発に取り組んでまいりました。研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。

研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。研修の開催は、研修実施予定の協会の協賛をいただき、協会の訪問看護ステーションでの研修開催を希望する協会の協賛をいただきます。

【日時】 平成29年10月7日(土) 13:30～16:30  
【研修時間】 研修時間3時間(2時間研修+1時間質疑応答)

【会場】 東京都武蔵村山市 2階研修室  
【研修費】 研修費 2,000円 研修費 5,000円  
【定員】 12名程度(研修実施の協会は、会場を別とします)

【研修内容】  
① キャリアラダーの目的  
② キャリアラダーの構成  
③ 研修の目的  
④ 研修の活用  
⑤ 研修の活用

②) 演習  
研修内容のチェックをしてみよう

③) 意見交換  
研修内容のチェックをしてみよう

【研修申込み】 「研修申込み」に研修申込書をご入力の上、  
〒162-8601 東京都武蔵村山市武蔵台1-1-1  
【研修申込み先】 FAX: 03-6220-3001 E-mail: tsukuba@arenet.com  
【研修】 平成29年9月16日(日)

一般社団法人  
東京都訪問看護ステーション協会

## 訪問看護サミット2017

11月12日(日)、日本訪問看護財団主催による訪問看護サミットが開催され、今年は750名を超える参加者が集まり盛大なものになりました。「チームアプローチと訪問看護の未来」というテーマのもと講演、シンポジウムが行われました。

特別講演は『ホスピスマインドの伝道師』として活動を続けている、めぐみ在宅クリニックの小澤竹俊先生のお話でした。先生は、エンドオブライフ・ケア協会講師として、全国で講座を開催されております。人生の最終段階を迎え、死を前にした人に何が出来るのか。医療者、介護者でも看取りに苦手意識を持つ人がおり、「日に日に弱っていく人にどのように関わってよいか分からない。」「家族に迷惑をかけるなら早くお迎えが来ないかな?」と言われたら言葉が出ない。」と不安を抱えています。先生は講演の中で、『本人と家族が穏やかでいられるように』支援する私達ができる5つの課題を分かりやすく教えてくれました。援助的コミュニケーションの実践や一人ひとり異なる希望や支えを見つけることなど、短い時間ではありましたが、多くの学びができた講演でした。

また、作業療法士の中村春基先生から生活行為向上マネジメント(MTDLP)の紹介がありました。『本人にとって、本当に大切に重要な「やりたい」と思っている生活行為に焦点を当てたマネジメントツール』で、とても細やかなツールとなっ

ていました。関わる人全てが合意した目標のもと、本人はもちろんのこと、家族や看護師、介護士がそれぞれできることを援助していく



小澤竹俊先生

中村春基先生

ことで目標が達成されます。そして、人は作業することで元気になる、その人らしい豊かな作業を保障する、豊かな地域づくりに貢献すると掲げられていました。質疑応答では大阪から参加された訪問看護師さんが「今回サミットに参加したのは、中村先生に会うため」と話し、「現在、ステーションで共に働いているOTさんによって利用者さんのこれまでにないQOLの向上に結び付いている事に感謝している。もっとOTさんに在宅の現場に出てきてほしいと要望を伝えに来ました!!」と熱く語られる場面もありました。

他にも様々な分野で活躍されている方の貴重な話を聞き、多くの示唆を得ることができました。多職種連携のキーパーソンを期待されている私達訪問看護師は、決して独りよがりや自己満足で終わることのないよう、チームの担い手となっていきたいものです。

(千寿すぎなみ訪問看護ステーション 渡辺)

## 第37回 日本看護科学学会

最近是在宅関連の学会に参加することが多いのですが、今回は久しぶりに日本看護科学学会へ参加してきました。動機としては、看護のなかで訪問看護ってどのような位置付けなんだらうってことに関心を持ったからです。学会のテーマであるダイバーシティ(多様性)やイノベーションにも心惹かれるものがありました。

参加している人は、おそらく看護大学の教員や大学院生などがほとんどで、4,000名くらいの参加者がいる非常にエネルギー溢れる学会です。そこで、在宅領域の口演は1割、交流集会においては4割を占めており、在宅看護はこれからは重要な位置づけであることを改めて感じる事ができました。退院調整などの発表も多く、病院側も在宅を視野に入れているこ

とを実感しました。

特に面白いと思ったのは、「ケアイノベーションをおこす」というシンポジウムでした。訪問看護分野においてもサービス提供という側面で新たな発想が必要なのではないかと日々思っていて、それを後押ししてくれるような感じでした。



(なごみ訪問看護ステーション 葉山)

## 訪問看護ステーションの業務を 劇的に効率化するカイポケをご紹介します

看護師さんの帳票作成の負担を軽減! 残業がなくなります。

無料レンタルの iPad Airで 看護記録を作成

介護も医療も、 保険請求を まとめて管理

看護記録が 請求機能と連動! 転記がなくなる

無料のモニター体験、詳しい資料もご用意! お気軽にお問合せください。

☎0120-701-654 (平日9時~18時) □「カイポケ」で検索

外出先でも 記録や実績が 確認できるので、 オンコールの時に 直行できますね。

1人当たりの 残業時間が 最大約40% 削減できました!



職員同士の 情報連携も簡単!

カイポケ会員様の声

# ケアーズ日の出 訪問看護ステーション

訪 問 看 護

ダ ー ツ の

**私**たち、ケアーズ日の出訪問看護ステーションは今年の3月にオープンしたばかりの新米事業所です。日の出町とは東京の西多摩地域という、東京の秘境とも呼ばれる檜原村や観光名所の青梅と隣接している、自然豊かな小さな町です。

**ス**テーションの開設を展望したきっかけは、在宅で高齢者や様々な疾患をお持ちの方々が、どうやって生活の質を維持し支えていくことが最善なのかをずっと考えていました。

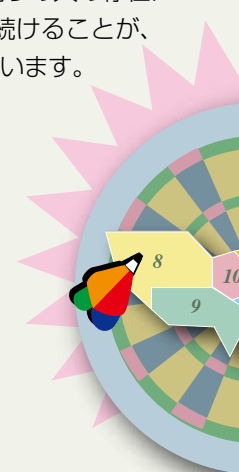
そんな中、障害をもつ方々と一般の方との境界線を減らさべく子どもから外国人など、幅広い年齢層の方に“忍者体験”を提供し人気を博していた、日の出太陽の家ボランティアセンターの久保田氏に出会いました。私もそこで忍者事業に参加させていただき、地域住民の方とのふれあいを重ねるうちに、この町で新たな取り組みにチャレンジしながら在宅医療を支えたいという決意が固まり、開設に至りました。

**当**事業所では、男性職員の割合が高くなっています。特色としては精神疾患と内科合併症を併せ持つ方や重度身体障害のある方、医療ニーズの高い方まで幅広く対応しております。当事業所の理念でもある“心の通い合う看護”をモットーに、利用者の方々の多彩なニーズに対して、適切な距離をとりつつも、より一歩親身になった関わり方を提供できるよう、日々の関わりについて振り返りを大切にしています。

**今**でも休日の地域のイベントなどには

“忍者”として事業所スタッフとともに活動しており、平日は地域を支える訪問看護としての“任務”、休日は地域を盛り上げる忍者としての“忍務”を行い、近隣の方々からは「あれ、びっくりした！今日は忍者の日かい？」などと快く声をかけていただくようになり、日々精進しながら遂行しております。この取り組みのおかげかどうかはわかりませんが、忍者のように迅速に対応できるスタッフが増え、それを喜んでいただける利用者さんや関連事業者さんなども少しずつですが増えたことが私どもの一番の強みでありました、喜びにもなっています。

**こ**ういった地域でのつながりを通して、周りの人の存在に私たちが自身が常に感謝しながら行動し続けることが、在宅医療の質の向上につながっていくと信じています。



地域での活動



スタッフ一同



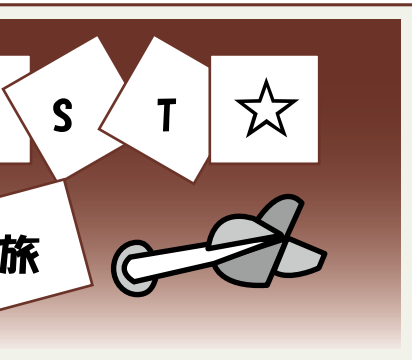
地域での活動【忍者体験 事業】



街の様子

natural SQUAD株式会社  
 ケアーズ日の出  
 訪問看護ステーション

管理者 法人代表取締役 細谷 雄祐  
 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町  
 平井2161-16 神田ビル201  
 TEL:042-519-9654 FAX:042-519-9654  
<https://houmonkango-hinode.com>



# うさぎ訪問看護ステーション



横浜親水公園

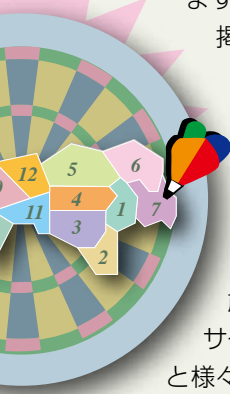


北斎美術館

こんにちは、うさぎ訪問看護ステーションです。事業所は電波塔では世界一を誇る東京スカイツリーの本真下にあります。日本はもとより、世界各国からこの地域を訪れます。観光バス、人力車、カートと大変混雑している中、電動自転車で日々訪問しています。

**墨**田区には最近話題の葛飾北斎の絵画を展示している北斎美術館もでき、さらに訪れる人も多くなっています。そして、両国国技館があります。大相撲の時はカラフルなのぼりがたくさん掲げられとてもきれいです。そんな観光にあふれた地域です。

**2**016年4月に前事業所から独立し、株式会社を設立。同時にうさぎ訪問看護ステーションを立ち上げました。まだ歴史の浅い事業所です。スタッフは看護師9名・理学療法士3名・事務2名でベビーから101歳まで幅広い訪問をしています。介護保険でのサービスだけではなく小児や精神、難病、終末期と様々な方たちのお宅を訪問させていただいております。小児はベビーからのかかわりが多く、ご両親とともに成長を楽しませてもらっています。



**訪**問手段は電動自転車なので、事務所の前には人数分の電チャリがズラズラと並んでいます。自転車置き場を借りたくてもなかなかないため、置ききれない自転車は事務所の中にも浸食している状態です。商業地区の訪問看護ステーションならではの問題です。

**当**事業所（当社）は「働く人もサービスを受ける人もともにハッピーになる！」を目指しています。「働く人が公私ともハッピーであれば利用者にも充実したサービス提供ができ、利用者もハッピーになっていただけるのではないかな」という思いを実践していけるようスタッフと一緒に事業所（会社）づくりに邁進している最中です。

**こ**れからもスタッフがハッピーになる「やりたいこと」を支援しながら、ご利用者に対しても「安心したサービス」を提供できるように「うさぎ電チャリ号」はスカイツリーの下を走ります。



事務所



スタッフ一同

株式会社叶夢  
うさぎ訪問看護ステーション  
所長 鈴木 典子

〒130-0002 東京都墨田区業平1-8-2  
TM業平ビル1F  
TEL:03-5819-4200 FAX:03-5819-4142  
<http://www.kanamu.jp/>

## わかりやすい「けいえい学」



皆さんは、療養通所介護をご存知ですか？簡単に言うと、医療的なケアを要し、常に看護師による観察を必要とする重度要介護者又はがん末期患者を対象としたデイサービスです。定員が9名以下のため、平成28年から地域密着型サービスに位置づけられています。少数制で、個別性の高いきめ細やかなサービスが受けられるため、利用者にとっては大変満足度の高いサービスといえます。

しかし、平成29年4月の時点で全国に85箇所、東京都においては6箇所（地域密着事業のため、総数の把握が難しい）しかなく、平成18年にサービスが誕生してから10年以上経ってもなかなか増えていない現状があります。なぜ、療養通所サービスが増えないのか、その原因を考えてみたいと思います。

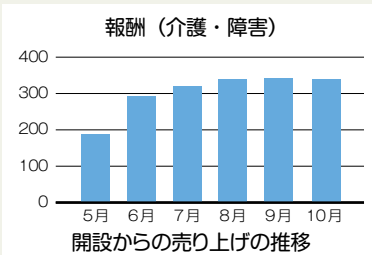
### 【療養通所サービスが増えない原因】

全国の療養通所事業所の85%が赤字経営と言われるように、経営が難しい印象が強く、開設に前向きになれない経営者が多いようです。なぜ、経営が難しいのか、考えられることは、①厳しい人員配置のため、人件費率が高い。②キャンセルが多く、稼働率が保てない。③入浴・送迎・処置などの手間がかかるが、それに見合った介護報酬ではない。といったところでしょうか。

### 【療養通所サービスは本当に採算が取れない？】

当法人では、平成29年5月に療養通所サービス「ナーシングデイ山の上」を開設しました。6月には、重症心身障害児を対象とした児童発達支援・放課後等デイサービスの指定を受け、療養通所サービスの定員の中で、小児を受け入れています。現在は月曜日から土曜日まで療養通所6名定員（うち小児は5名まで）で運営をしています。

初期投資は、改修費



や浴槽、介護用ベッド等の設備費合わせて600万程度かかりましたが、現時点で支出は人件費・経費合わせて250万程度であり、毎月利益を出しながら安定した経営ができています。なぜ、このように安定した経営ができるのか、不思議に思われる方もいらっしゃると思いますので、解説したいと思います。

まず、大切なのは稼働率です。開設前から利用者の確保を行い、開設時にはほぼ定員一杯の利用者を確保しました。5月の売り上げが少ないのは、6月開始の小児の枠を確保していたからです。キャンセルが多いという課題に対しては、「山の上保護者会」といったライングループを作り、空き枠が出た時点で他の小児が利用できるように声かけをしています。その結果、8月以降はほぼ稼働率100%を維持することができています。また、人件費を抑えるために、職員教育に力を入れ、保育士や介護職が重度の要介護者や重症心身障害児のケアを担えるように人材育成に取り組んでいます。

### 【療養通所介護は地域貢献事業です】

地域では、医療的ケアの必要な要介護者や重症心身障害児が通える場所がなく、介護者や家族は大変な思いをしながら在宅生活を送られています。療養通所介護を開設して、本当に困っている方が地域には沢山いらっしゃるということを改めて感じました。ぜひ、多くのステーションで療養通所介護を開設してもらいたいと願っています。

(山の上ナースステーション 柴田)



## 東洋羽毛は日本の生活に、高品質な羽毛ふとんを普及させたい。

## 羽毛ふとんを通じて、日本の生活文化の向上に貢献したい。その思いで65年になります。

私たちは常に社会と皆様の快適な生活のお役に立つには何が出来るのかを考え行動してまいりました。

一例として…

- ・1956年、第1次南極観測隊に羽毛服と寝袋を納入。その後、現在まで南極越冬隊の羽毛服には東洋羽毛の羽毛が使用されています。

皆様に信頼される企業である為に、責任を持ち、挑戦し続けます。

皆様に信頼されて65年  
 東洋羽毛首都圏販売株式会社

東京営業所 ☎0120-195804  
 西東京営業所 ☎0120-218104  
 南東京営業所 ☎0120-559070



www.toyoumo.co.jp

## 都会のオアシス



**サイ**

2.5トンが時速 50km で突進！  
百獣の王にだって負けません。

**コビトカバ**

小さく丸い可愛い世界3大珍獣の1種  
3大珍獣は3種とも上野動物園で会えます！  
(ちなみに、あと2種はパンダ・オカビ)

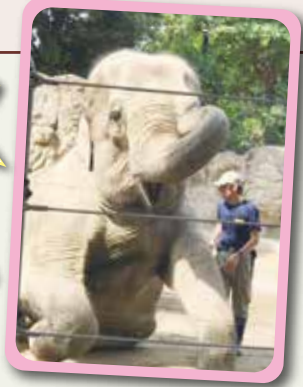


みなさん、癒しの時間を持っていますか？  
動物と触れ合うことで、心が落ち着いたりス  
トレスが軽減する「動物を通じた癒し」はア  
ニマルセラピーと呼ばれ、精神的健康を取  
り戻すことができるといわれています。

本号では、身近にある都会のオアシス、  
「上野動物園」「サンシャイン水族館」をご  
紹介いたします。ご多忙の方も多いと思いま  
すので、紙面を通して癒されていたければ  
と思います。

**ゾウ**

陸上動物最重量!!  
パワーも一番!  
でもやさしく、  
賢い人気者。



**ジャイアントパンダ**

話題沸騰の「シャンシャン」のババ  
(リーリー)



**ニホンザル**

動物園ではおなじみなおさるさん。  
喧嘩したり、抱き合ったり忙しい。



**ホッキョクグマ**

史上最強?  
かわいい見た目と裏腹に  
肉食性雑食。  
温暖化の影響で北極の  
仲間は大変そう。



## サンシャイン水族館は2017年7月に屋外エリアがリニューアルしました!

**サンゴ礁**

某ディズニー映画のような鮮やかな世界。  
温暖化によって本当の海では深刻な状況もあるようで...



**ペンギン**

えっ!空飛べるの?  
いいえ、地上60階で泳いでマース!  
真下から観るペンギンは圧巻!



**大水槽**

たくさんのお魚と  
エイが悠々と。  
えっ!可愛くない?  
エイの顔?裏の顔?



**クラゲ**

ザ・癒し系。  
この単調な動きが  
脳内リセット  
に効き目大!



**アシカ**

頭のよい、芸達者な  
遊び人?  
柔軟性と器用さを  
分けてほしい。

大人になると訪れる機会が減る動物園や水族館ですが、行ってみると時間を忘れさ  
せてくれる癒しの場所で、まさにアニマルセラピーを自然に受けることができました。

## 我が家のオアシス

家庭でペットを飼われている方も多いと思います。大半は、犬と猫かも知れませんが、以下は、  
広報委員の面々が飼っている自慢のペットたちです。名前と年齢を添えて、ご紹介したいと思います。

マナちゃん 8ヶ月



空くん 5才



ジャスパーくん 推定7才



チョコくん 7才

11月初め、札幌にあるキタラホールでベートーヴェンの“第九”の演奏会があり参加してきました。なぜ札幌まで行ったのかはいろいろと理由があるのですが、それはさておき、演奏会が終わった後、北海道に住む看護師の友人2名に会うことができました。

ふれたいむ



1時間足らずの短い間でしたが、ホールのカフェで訪問看護の現状や今後の看護の活躍などについても語りました。それぞれの地域の特徴はあったにしても、超高齢社会の抱える根本的な問題は共通していて、そんな中で看護師としてどんなことができるか？というビジネス的な話にもなったり…楽しく有意義な時間でした。

こうして再会できたのも、実はSNSのお陰なのです。SNSもうまく使えば旧友と再会できたり、様々な情報交換に役立ったりしますよね。

演奏会の翌日は、余市にあるニッカウヰスキーの工場へ行ってきました。工場見学とウヰスキーの試飲ができます。札幌から電車で1時間くらいで行けるのでオススメです！ (なごみ訪問看護ステーション 葉山)

12月31日現在の会員施設数  
継続会員:432 新規会員:112 合計:544

今回のそわにえ冬号は、「東京訪問看護ステーション協議会」から「一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会」へと法人化されて、初めての発行となりました。会員の皆さまのご協力のもと、研修報告や癒しのページ等を盛り込み、そわにえの発行を楽しみにお待ちいただけるような内容を掲載いたします。

編集後記

また、今年は医療保険と介護保険のダブル改正の年となります。訪問看護に求められている事をしっかりと見据え、柔軟に対応できるように頑張らしましょう。(株)ライフケアサービスセンター 高木



東京都訪問看護ステーション協会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

12月31日現在の会員施設数  
継続会員:432 新規会員:112 合計:544

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17  
公益社団法人 東京都看護協会会館 地下1階  
tokyohoukanst@gmail.com



滴下調整の効率化へ  
「滴びた®」

滴下の間隔から1分間あたりの滴下数を自動計算

資料請求先 ニプロ株式会社  
大阪市北区本庄西3丁目9番3号 2016年11月

since 1995

訪問看護ステーション業務ソフトといえば

ライフウェア

lifeware

ライフウェアは簡単操作で高機能!

医療・介護保険 レセプト対応	高齢者・難病・小児・ 精神各制度対応	タブレット対応 (iPad/Windows)
電子カルテ 機能完備	報告書・ 計画書等文書作成	厚生労働省 統計・集計対応

安心のサポート体制 オンラインヘルプデスク 現地対応操作説明

ワンクリックで  
簡単です!



標準価格

月額利用料 (PC1台/税別)

12,000円より

※PC2台以上は別途お見積り。一括支払い、リース等によるお支払いも可能です。



発売元 ライフウェア TEL:03-6457-8798

東京都新宿区新宿2-15-24成田ビル5F www.lifeware-net.co.jp

ライフウェア 検索

image